

救急部

Emergency Medical Center

部長（併）	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
副部長（併）	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助手（併）	井川 晃彦	Akihiko Igawa
助手（併）	旭 雄士	Takashi Asahi
助手（前）	平野 克治	Katsuharu Hirano
助手（前）	安田 剛敏	Taketoshi Yasuda

著 書

- 1) Wakasugi M, Okudera H, Ohta T, Asahi T, Igawa A, Tange D: Development of the New Coma Scale: Emergency Coma Scale(ECS). in Kanno T, Kato Y(eds): Minimally Invasive Neurosurgery and Multidisciplinary Neurotraumatology. Springer-Verlag Tokyo, 2006. 400-403
- 2) 奥寺 敬,竹内典之(監)：みんなの森-安全編.社団法人国土緑化推進機構,2005,東京.
- 3) 奥寺 敬：救急医療-手技頭蓋内圧降下療法.今日の治療方針 2005 年版,101-102,医学書院,東京,2005.
- 4) 奥寺 敬：救急医療情報システムとメディカルコントロール.脳神経外科学系 5,脳神経外科救急,19-25,中山書店,東京,2005.
- 5) 奥寺 敬：めまい.日本救急医学会（監）,救急研修標準テキスト,191-193,医学書院,東京,2005.

原 著

- 1) 石坂真二,高林大輔,奥寺 敬：救急医療からみた高気圧酸素治療施設のネットワーク化に向けての提言-一酸化炭素中毒の受け入れ経験より-.地域救急災害医療研究,3:13-14,2005.
- 2) 奥寺 敬：長野五輪における救急医療体制-2005 年岡山国体に備えて.日本病院会雑誌,52:1342-1353,2005.
- 3) 奥寺 敬：松本広域ドクターカー 20 周年の運用統計.地域救急災害医療研究,3:19-22,2005.
- 4) 奥寺 敬：脳腫瘍の治療-外科療法-ロボット手術.日本臨床,63：358-362,2005.
- 5) 丹下大祐,井川晃彦,若杉雅浩,奥寺 敬：ICLS 指導者養成ワークショップ（富山）の開催.地域救急災害医療研究 3（1）,15-18,2005.
- 6) 堤 晴彦,奥寺 敬,堀 進悟,奥地一夫,杉田 学,横山正巳,秋山利浩：意識障害に対するプレホスピタル・ケアの標準化-PCEC(Prehospital Coma Evaluation & Care)を目指して-.日本臨床救急医学雑誌,8:99-100,2005.
- 7) 若杉雅浩,丹下大祐,奥寺 敬：頭蓋内圧と脳灌流圧の管理.臨床医,31:604-606,2005.
- 8) 山本由加里,奥寺 敬：災害発生時にできる救命処置,してはいけない救命処置.EMERGENCYCARE,18:347-353,2005.
- 9) 山本由加里,奥寺 敬:術式別管理-開頭術-頭部外傷.ブレインナーシング 2005 夏季増刊,119-124,2005.
- 10) 山本由加里,奥寺 敬:一時的体外経皮ペーシングはどんなときに用いるの?ナーシングケア Q&A7:22-23,2005.
- 11) 山本由加里,奥寺 敬:自動体外式除細動器(AED)の使い方を教えて?ナーシングケア Q&A7:20-21,2005.

症例報告

- 1) 織田 聡,若杉雅浩,井川晃彦,奥寺 敬：急性硫化水素中毒の 1 例.中毒研究,18:211-212,2005.

総 説

- 1) 奥寺 敬：災害時に求められる救急医療.富山市医師会報,409:14-16,2005.
- 2) 奥寺 敬：災害医療と公衆衛生.北陸と公衆衛生,51:14-15,2005.

学会報告

- 1) Okudera H: Sarin attack in Matsumoto City- summing-up of acute phase and chronic phase. GHSAG: Global Health Security Action Group: Chemical Events WG Tokyo Meeting. 10/4-5, National Institute of Infectious Disease, Tokyo, Japan
- 2) Wakasugi M, Okudera H, Ohta T: Prehospital Coma Grading System for Head Injury: Emergency Coma Scale. 3rd World Congress for the Academia of Multidisciplinary Neurotraumatology, 2005.3, Nagoya, Japan.

- 3) 旭 雄士,平島 豊,竹内幹伸,壺井祥史,西尾陽一,柴田 孝,池田宏明,遠藤俊郎: 両側淡蒼球凝固術後に両側視床下核刺激術を施行し,症状の改善をみたパーキンソン病の 1 症例.日本定位・機能神経外科学会,2005,1,大阪.
- 4) 井川晃彦,丹下大祐,若杉雅浩,奥寺 敬,小倉憲一,津山 博: ICLS コース運営とコースの質の維持の取り組み.第 33 回日本救急医学会総会・学術集会,2005,10,大宮.
- 5) 野田英一郎(日本救急医学会),田中行夫,早川峰司,小池 薫,菊池 研,池上敬一,北原 浩,木村昭夫,境田康二,坂本哲也,奥寺 敬,杉浦立尚,真弓俊彦,石見 拓,小林正直,中谷壽男,谷川攻一,林峰 栄,山畑佳篤,有賀 徹,平出 敦,日本救急医学会 ACLS コース企画運営委員会: ICLS コース普及と現状.第 33 回日本救急医学会総会・学術集会,2005,10,大宮.
- 6) 織田 聡,井川晃彦,若杉雅浩,奥寺 敬: 急性硫化水素中毒の一例.第 19 回日本中毒学会東日本地方会, 2005,2,東京.
- 7) 奥寺 敬: 松本サリン事件の教訓.松本・東京地下鉄両サリン事件 10 年総括シンポジウム,2005,3,東京.
- 8) 奥寺 敬: メディカルコントロールと急性期医療の展望(特別講演).第 8 回石川県救命医療研究会,2005,3,金沢市.
- 9) 奥寺 敬: 救急医療システムにおける高齢患者の動向(教育講演).第 18 回日本老年脳神経外科学会,2005,4,富山.
- 10) 奥寺 敬,馬場美智子: 新潟県中越地震における医療機関の被害と医療機関の対応-救護活動の全体像と今後の課題.「医療機関の防護」第二回シンポジウム,2005,4,神戸.
- 11) 奥寺 敬: 意識障害に対するプレホスピタル・ケアの標準化-ACLS との整合性について.第 8 回日本臨床救急医学会総会, 2005, 4, 東京.
- 12) 奥寺 敬: AHA ガイドライン 2000 における急性脳卒中の初期診療について(教育講演).第 1 回脳卒中初期治療研究会,2005,7,秋田市.
- 13) 奥寺 敬: 脳卒中初期診療の標準化.第 15 回軽井沢脳神経カンファランス,2005,9,軽井沢町.
- 14) 渋谷伸子,杉木 実,奥寺 敬,釈永清志,山崎光章: CHDF の抗凝固薬としてのアルガトロバン併用の経験.第 32 回日本集中治療医学会学術集会,2005,2,東京.
- 15) 杉木 実,渋谷伸子,奥寺 敬,山崎光章: 大動脈ステント内挿術により救命できた輸血拒否患者の 1 例.第 32 回日本集中治療医学会学術集会,2005,2,東京.
- 16) 若杉雅浩,奥寺 敬: 小児救急管理のノウハウ-小児外傷患者の初期治療.第 10 回日本脳神経外科救急学会, 2005, 2, 名古屋.
- 17) 若杉雅浩,奥寺 敬,井川晃彦,小倉真治,内藤万砂文,広瀬保夫,和籬幸弘: 平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨災害の調査報告(ワークショップ).第 10 回日本集団災害医学会総会,2005,3,吹田市.
- 18) 若杉雅浩,小倉憲一,井川晃彦,奥寺 敬: 救急救命士の気管挿管の質の保障としての救急隊を対象とした OSCE の導入.第 8 回日本臨床救急医学会総会,2005,4,東京.
- 19) 若杉雅浩,井川晃彦,丹下大祐,奥寺 敬: 救急医療システムと臓器移植-レシピエント搬送の問題点-.第 18 回日本脳死・脳蘇生学会,2005,6,名古屋.
- 20) 若杉雅浩,井川晃彦,丹下大祐,奥寺 敬: 医学教育における心肺蘇生法・ICLS コースの位置づけ.第 33 回日本救急医学会総会・学術集会,2005,10,大宮.
- 21) 若杉雅浩: 医学教育における心肺蘇生法・ICLS コースの位置づけ.第 33 回日本救急医学会総会,一般,2005,10,大宮.
- 22) 若杉雅浩,奥寺敬: 小児救急管理のノウハウ-小児外傷患者の初期治療.第 10 回日本脳神経外科救急学会,2005,1,名古屋.
- 23) 若杉雅浩,奥寺敬,井川晃彦,小倉真治,内藤万砂文,広瀬保夫,和籬幸弘: 平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨災害の調査報告.第 10 回日本集団災害医学会総会,2005,3,吹田.
- 24) 若杉雅浩,小倉憲一,井川晃彦,奥寺敬: 救急救命士による気管挿管の質の保障としての救急隊を対象とした OSCE の導入.第 8 回日本臨床救急医学会,2005,4,東京.
- 25) 若杉雅浩,井川晃彦,丹下大祐,奥寺敬: 救急医療システムと臓器移植-レシピエント搬送の問題点-.第 18 回日本脳死・脳蘇生学会,2005,6,名古屋.
- 26) 若杉雅浩,井川晃彦,丹下大祐,奥寺敬: 医学教育における心肺蘇生法・ICLS コースの位置づけ.第 33 回日本救急医学会総会,2005,10,東京.
- 27) 若杉雅浩,奥寺敬: 気管挿管教育の現状と課題.第 27 回救急コ・メディカルセミナー,2005,11,名古屋.

その他

- 1) 井川晃彦: 国際ガイドラインにもとづいた心肺蘇生法.平成 17 年度文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業(富山県立高岡高校)「ミニ大学」,2005,7,富山県立高岡高校.

- 2) 奥寺 敬：AED を用いた心肺蘇生.平成 17 年度富山県水泳医・科学シンポジウム,2005,11,上市町.
- 3) 奥寺 敬：イベント医療と救急医療.平成 17 年度岡山大学医学部 4 年次救急医学講義,2005,7,岡山市.
- 4) 奥寺 敬：市民のための一次蘇生法と AED.平成 17 年富山医科薬科大学公開講座「健やかに生きるために」,2005,6,富山市 .
- 5) 奥寺 敬：歯科診療における健康危機管理.第 33 回中部歯科麻酔研究会・第 22 回日本歯科麻酔中部地方会,2005,6,富山市.
- 6) 奥寺 敬：命の危機管理を考える-心肺蘇生法の実際.第 22 回日本心電学会学術集会・市民公開講座,2005,10,富山市.

研修会等講演

- 1) 井川晃彦：心肺脳蘇生講習会.2005,6,八尾スポーツアリーナ.
- 2) 井川晃彦：心臓突然死と AED. 杉谷会世話人会,2005,11,名鉄トヤマホテル.
- 3) 奥寺 敬：中越地震に見る災害時の難病対策について.平成 16 年度富山難病対策推進協議会,2005,2,富山市
- 4) 奥寺 敬：日本海地震による富山湾大津波シミュレーション.平成 16 年度富山県健康危機管理対策特別研修会,2005,2,富山市.
- 5) 奥寺 敬：防災から減災へ-住民力を向上させる具体策としての一般市民を対象とした AED 講習の解説.平成 16 年度富山県健康危機管理対策特別研修会,2005,2,富山市 .
- 6) 奥寺 敬：災害時に求められる救急医療.富山市医師会生涯教育研修会,2005,2,富山市.
- 7) 奥寺 敬：化学物質による緊急危害対応-もし川に化学物質が流れたらあなたはどうか対処しますか-.国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所特別講演会,2005,3,富山市.
- 8) 奥寺 敬：救急処置における BLS と AED の原理と解説.富山市医師会・ACLS 導入研修会, 2005,3,富山市 .
- 9) 奥寺 敬：災害時の病院の役割.富山市民病院・災害医療セミナー,2005,5,富山市.
- 10) 奥寺 敬：熱中症の臨床像.今夏の天候と熱中症に関する講演会,2005,6,富山市.
- 11) 奥寺 敬：松本サリン事件における医療対応-事件からの教訓と関係機関の連携-.大阪府泉佐野保健所健康危機管理連絡会議,2005,7,泉佐野市.
- 12) 奥寺 敬：集団災害時の対応について.鹿児島救急医学会三部会（第 58 回医師部会・第 34 回看護部会・第 21 回救急隊員部会）合同特別講演,2005,9,鹿児島市.
- 13) 奥寺 敬：災害時の救急医療-21 世紀の災害像.災害医療研修会,2005,9,名瀬市.
- 14) 奥寺 敬：災害拠点病院に求められる医療.平成 17 年度伊那中央病院災害医療研修会,2005,11,伊那市.
- 15) 奥寺 敬：地域中核病院に求められる救急医療と災害医療-医療安全の視点から.第 7 回氷見市民病院医療安全研修会・特別講演,2005,11,氷見市.
- 16) 奥寺 敬：救急災害医療における危機管理.平成 17 年度石川県病院協会・救急医療体制強化事業研修会,2005,12,七尾市.
- 17) 若杉雅浩：救急救命士の処置拡大とメディカルコントロール.平成 16 年富山ブロック救急隊員研修会,2005,2,大山町消防本部.
- 18) 若杉雅浩：救急隊の現場活動と救急病院の役割.富山赤十字病院第 5 階救急事例検討会,2005,5,富山.